

Sustainability Report 2024

トップメッセージ

「エンタテインメント企業ならではのサステナビリティへの貢献」

「エンタテインメントの可能性に挑みつづける。人が持つ無限のクリエイティビティを信じ、多様な才能とともに世界に感動を届ける。そして、豊かな未来を創造する。」
2022年、エイバックスが策定した企業理念です。才能や作品を通じて感動や共感を提供し続ける企業でありたいという想いは、私たちにとって原点回帰でもあると考えています。

そんなエイバックスにとって「サステナビリティ（持続可能性）」への取り組みをどう位置付けるか？私たちは「エンタテインメント企業ならではのサステナビリティへの貢献」にこだわり、新たなサステナビリティポリシーと具体的なアクションプランを策定することにしました。その土台となるのは、エンタテインメント企業にしかない発信力の活用です。振り返ってみても、エイバックスは、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の推進のため、日本政府の国連本部でのプレゼンテーションに全面協力するなど、その発信力を活かしてきました。こうした発信力に基づき、エンタテインメント企業の使命である感動や生きる活力など「無形の豊かさ」を人々に届けること、さらには未来を創造する多様な人材・才能など「次世代」を育むことを、サステナブルな世界に向けた貢献の中核にすべきとの結論に至りました。また、これらの取り組みを支えるべく、社員、アーティスト、タレント、そしてファンの皆さまなど、私たちの活動に関わる全ての人々と一緒に学び、行動しながら、コーポレートガバナンスなども含め企業のサステナビリティに直結する組織文化を育んでいきます。

エイバックスは、世界のサステナビリティへの貢献において、エンタテインメント企業の新たな価値モデルの創造に挑戦していきます。



代表取締役社長CEO黒岩 克巳

サステナビリティポリシー／マテリアリティ

サステナビリティポリシー

未来の才能と、未知の感動への貢献

私たちは多様な才能と感動が創り出す豊かで創造的な未来を信じ、エンタテインメント企業として持続可能な社会に貢献する新たな価値モデルの創造を目指します。

サステナビリティポリシーは企業理念につながるものであり、エイベックスがサステナビリティに関する施策を推進する上で指針となるものです。

サステナビリティ推進ユニット

サステナビリティ推進ユニットは、従業員だけでなく、所属アーティストやタレント、外部の有識者や学生をメンバーとし、エンタテインメント企業ならではのサステナビリティを推進するための専門部署として2022年7月に設立しました。当社所属アーティスト・タレントからは、UNEPサステナビリティアクションアドバイザーの古坂大魔王、フィットネストレーナーとして活動しながら、環境保護や動物愛護活動にも献身的に取り組む田辺莉咲子をメンバーに迎えました。加えて、多様な視点を取り入れるため「エンタテインメントと持続可能な社会」に興味関心がある大学生を学生メンバーとして公募していることも特徴です。今後もエイベックスでは、従業員だけでなくアーティスト・タレントや学生と共に活動し、サステナブル（持続可能）な社会の実現に向けた取り組みを行ってまいります。



古坂大魔王



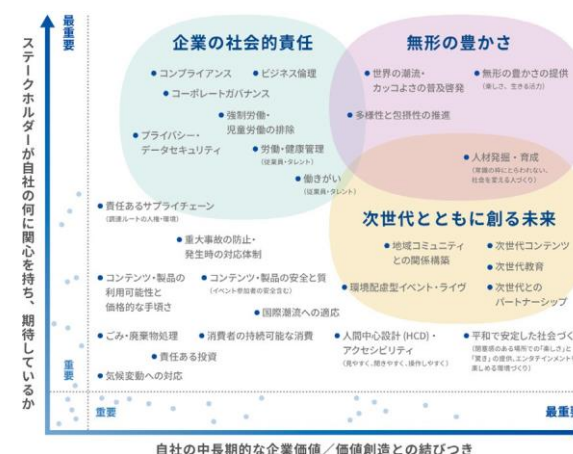
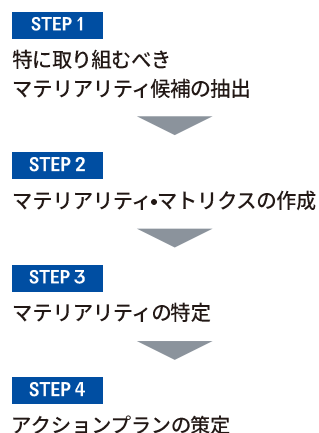
田辺 莉咲子



学生メンバーの
木下萌夏、池田日陽、松本涼、四宮彩名

マテリアリティ特定のプロセス

マテリアリティ（重要課題）については、国連グローバルコンパクトなどが作成した「SDGs Compass 〜SDGsの企業行動指針〜」、日本取引所グループ及び東京証券取引所の「ESG情報開示実践ハンドブック」、経済産業省の「価値協創ガイダンス」などを参考にし、以下のプロセスで特定しました。



③ マテリアリティ特定プロセスについて詳細はこちらから
<https://avex.com/jp/ja/sustainability/management/process/>

3つのマテリアリティ

3つの主要テーマ

「無形の豊かさ」を創る、届ける

- 才能や作品を通じた人々への感動や生きる活力の提供
- ダイバーシティ＆インクルージョン（多様性と包摂性）の推進

「次世代」を創る、届ける

- 「次世代」人材の発掘・育成
- 「サステナブルな世界」に向けた多様なパートナーシップ
- 経済・社会・環境を調和するイノベーション

「無形の豊かさ」と「次世代」を創るための土台となる組織づくり

- ビジネス倫理を確保するガバナンス
- 働きがいと人権の尊重

マテリアリティ

マテリアリティ 主要テーマ1

「無形の豊かさ」を創る、届ける

当社は、本業であるエンタテインメントを通じ、人々に感動体験や楽しみなど「無形の豊かさ」を届けることが、最もサステナビリティに貢献できる分野だと考えており、音楽、アニメ・映像、イベント、ライブ、シアター、コンサートなど様々なエンタテインメント体験を提供しています。アーティストや作品を通じて人々に届ける感動体験や楽しみは、エイベックスの価値の中核であり、同時に社会からも求められている部分でもあります。

『「無形の豊かさ」を創る、届ける』は、エイベックスの強みを活かした“攻め”のサステナビリティ推進でもあり、エンタテインメント企業ならではの領域だと考えています。

個別項目 1 | 才能や作品を通じた人々への感動や生きる活力の提供

主な施策

- 日本発のプロダンスリーグ「Dリーグ」への参画
- エイベックスならではのエンタテインメント体験の提供

当社は音楽、アニメ・映像、イベント、ライブ、シアター、コンサートなど、それぞれのビジネスカテゴリが生み出すエンタテインメントをリンクさせ、そのシナジー効果で、より上質なコンテンツの創出を図っています。

中でも象徴的なのが、国内最大級の累計動員数を誇る夏フェス「a-nation」です。「a-nation」は、2002年より日本国内唯一の全国サーキット型の野外フェスとしてスタート。ジャンルの垣根を越えたアーティストラインナップで、これまで延べ600万人以上を魅了してきました。



個別項目 2 | ダイバーシティ&インクルージョン（多様性と包摂性）の推進

主な施策

- 多様な人材が活躍できる環境整備の推進
- 従業員教育プログラムの推進
- 小児がん治療支援チャリティーライブ「LIVE EMPOWER CHILDREN」の開催

小児がん治療支援チャリティーライブ「LIVE EMPOWER CHILDREN（以下LEC）」は、小児がんの子どもたちを音楽で元気づけるためのチャリティーライブで、国際小児がんデーである毎年2月15日に実施されています。



小児がんが社会的支援を必要とする病気であることを広めるとともに、クラウドファンディングや、生配信での投げ銭、アーカイブ配信の広告収入、グッズ、その他募金で得られた収益は全て小児がん支援団体や、研究施設に寄付されます。小児がんを克服したコードモダンサーズとアーティストのコラボレーションや、LECの思いに賛同した豪華アーティストによるライブパフォーマンスなど、エンタテインメントを楽しみながら、小児がんの支援を促進するイベントです。

イベント取材した学生メンバーからのコメント

エンタテインメントは関わる全ての人が笑顔になれるものだと感じました。コードモダンサーズの笑顔はとても輝いていましたし、私も自然と笑顔になりましたし、来場された方々もそうだったのではないかと思います。今後も、エンタテインメントを通して多くの方々に笑顔が広がることを願っています。



サステナビリティ
推進ユニット
学生メンバー
池田 日陽

マテリアリティ

マテリアリティ 主要テーマ2

「次世代」を創る、届ける

エンタテインメントを通じて人々に感動を届け続けていくためには、多様な才能を持つ人材の安定的な発掘・育成が不可欠です。多様な才能を持ち、エンタテインメントによって未来を創造する人材のことをわたしたちは「次世代」と呼んでいます。

また、様々なコラボレーションを行い、地域レベル・グローバルレベルでのパートナーシップを行ったり、テクノロジーを駆使した次世代型コンテンツを生み出していくことも、エイベックスの強みを活かしたサステナビリティへの貢献であると考えています。

個別項目 3 | 「次世代」人材の発掘・育成

主な施策

- インターンの受け入れによる社会経験機会の提供
- エンタテインメントビジネスマスターでの学習機会の提供
- 世界に愛される才能の発掘と育成を目的とした「avex Youth」の設立
- 「才能や夢を信じる力」を伝えるキャリア教育プログラム「avex class」

「avex class」はアーティスト・タレント・クリエイター・アスリートが一日講師として全国の教育機関に無償で訪問し、自身の体験談を通じて子どもたちに「才能や夢を信じる力」の大切さを伝える出張型のキャリア教育プログラムです。次世代を担う子どもたちが、将来の夢や好きなことを見つけて明るい未来

を描くためのきっかけを作ることを目的に、2023年2月から実施しています。これまで小学校から高等学校まで、計9校の学校を訪問し、累計1,861名（2024年3月時点）の児童・生徒の皆さんにご参加いただきました。



個別項目 4 | 「サステナブルな世界」に向けた多様なパートナーシップ

主な施策

- 名古屋市との包括連携協定の提携
- 「FC町田ゼルビア」とトップパートナー契約を締結
- 国連開発計画（UNDP）との意見交換

国連開発計画（UNDP）のハジアリッチ秀子駐日代表と山口忍ジャパンユニット上級顧問がエイベックス本社に来社され、サステナビリティ推進ユニットのメンバーと意見交換を行いました。意見交換会では、UNDPの取り組みの現状とその課題、エンタテインメント企業としてエイベックスが貢献できることなどについて、意見を交わしました。難しく思われがちなUNDPの取り組みを、エンタテインメントの発信力を生かして分かりやすい言葉で届けてほしいと伝えられ、エイベックスが大切にしているIPを活用した情報発信で応えていきたいと、改めてサステナビリティ推進活動の意義を考える機会となりました。



個別項目 5 | 経済・社会・環境を調和するイノベーション

主な施策

- 音声ARアプリ「SARF」のコンテンツ配信
- 次世代型スマートライブの推進

マテリアリティ

マテリアリティ 主要テーマ3

「無形の豊かさ」と「次世代」を創るための土台となる組織づくり

感動体験や楽しみなどの「無形の豊かさ」を人々に発信し、未来を創造する多様な人材・才能など「次世代」を発掘・育成するためには、アーティストやタレント、クリエイターからはもちろん、社会からエイベックス自身が信頼される企業でなければなりません。そのために、全ての企業が当たり前に取り組むべきことや、エンタテインメント企業であれば当然遵守すべき規範に沿って事業活動を行っています。

アーティスト・タレント、従業員、顧客（ファン）など、エイベックスの事業活動に関わる全ての人々が一緒に学びながら、サステナビリティ推進に取り組む組織文化を育むことができるよう、体制の整備を行っています。

個別項目 6 | ビジネス倫理を確保するガバナンス

主な施策

- サステナビリティ推進のための体制面の整備
- 従業員・アーティスト・タレントへの各種研修の実施
- より強固なコーポレート・ガバナンスの構築に向けた取り組みの実施 ☉ P39参照

株主の皆様ほか、ステークホルダーの方々のご期待とご信頼に応えるために、より強固なコーポレート・ガバナンスの構築が必須であると考えています。的確な経営の意思決定、迅速かつ適正な業務執行及び充分なモニタリングが機能する経営体制を構築することをコーポレート・ガバナンスの基本的な考えとし、企業倫理の維持・向上を図ってまいります。

個別項目 7 | 働きがいと人権の尊重

主な施策

● 働きがいの推進

これまで従業員が自由で柔軟に働くスタイルを選択できる「フレックス」「フリーアドレス」「テレワーク」のハイブリッド型の働き方を取り入れてきました。2024年6月より、リアルなコミュニケーションを活性化させ、クリエイティブな感性が刺激されるような環境を目指し、本社オフィスの一部を拡張・改修し、リニューアルしました。リアルなコミュニケーションから生まれる、より多くのアイデアをカタチにし、更なるヒット創出に繋げてまいります。



● 人権尊重に関する制度の整備

すべてのステークホルダーの人権を尊重し、事業活動における人権尊重に関する制度の整備や、エンタテインメント業界において生じ得る人権への負の影響の撲滅・是正に積極的に取り組んでいます。具体的には、全従業員を対象に毎年、当社グループの一員として、最低限必要なルール、リテラシー等を再認識することを目的とした、コンプライアンス研修や情報セキュリティ研修を実施。また、内部通報規定を策定し、人権侵害に関する行為が発生した際に、従業員が通報できる社内相談窓口を設置することで、働きやすい環境の整備に取り組んでいます。アーティストやタレント、クリエイターに関わる制作物においても、制作倫理規程や表現・倫理ガイドラインなどの社内向け規程の整備を行い、差別や偏見のない内容、倫理に配慮した表現を心がけています。

環境に関する取り組み・TCFD

ガバナンス

今後の気候変動を含むサステナビリティに関する方針や意思決定の迅速化と監督機能の強化を図るため、組織体制の見直しを含むガバナンスの在り方についても継続的に検討してまいります。

原則として月1回開催している取締役会では、重要な経営の意思決定・業務執行の監督等を行っています。気候変動に関わるリスクと機会への対応については、2022年7月1日に設立した専門部署「サステナビリティ推進ユニット」にて関連する部署と情報を共有しながら対応し、重要な報告事項が発生した場合、取締役会へ報告し、モニタリングを実施しています。



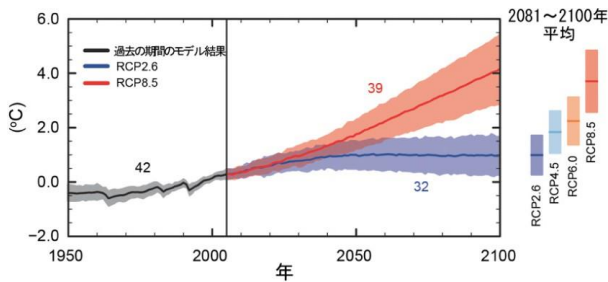
戦略（シナリオ分析）

当社グループは、2017年6月にTCFDが公表している最終報告書において、2℃以下シナリオを含む複数の温度帯のシナリオを選択・設定する必要があると提言していることから、気候変動に関する政府間パネル（IPCC*）が発表した世界平均気温の変化の状況を確認し、気候変動がもたらすリスク・機会について、移行面で影響が顕在化する1.5℃シナリオと物理面での影響が顕在化する4℃シナリオの2つのシナリオを選択しました。

台風や豪雨など異常気象の増加、温室効果ガス排出に関する規制等は、当社グループのライブ事業やサプライチェーンの各領域において、多大な影響を及ぼす可能性があり、事業上のリスクになる一方で、適切な対応を行うことで、事業の発展や、新たな需要の創造につながっていくことを認識しています。

* Intergovernmental Panel on Climate Change

世界平均地上気温変化



（出典：IPCC第5次評価報告書 第1作業部会報告書政策決定者向け要約気象庁訳より、図SPM.7を転載）

気候変動に関する主なリスクと機会

移行リスク・機会：脱炭素シナリオ（1.5℃）

移行リスク・機会については、1.5℃目標達成に向けて、様々な規制などが導入される脱炭素シナリオに基づいて検討しました。1.5℃以下シナリオにおいては、政府の環境規制強化にともなう炭素税導入や、再生可能エネルギー需要の増加による価格上昇など費用の増加、電力消費量を削減するための設備投資の増加が想定されます。また、環境問題をはじめとしたサステナビリティ意識の高まりもあり、CD・DVDやグッズの簡易的な包装やチケットレス等のデジタルを活用したスマートライブなどの取り組みを行い、今後も環境の持続可能性に配慮した活動を推進してまいります。

気候変動リスク/機会の項目		世の中の変化	想定されるシナリオ	リスク	機会	発生時期
リスク・機会	政策／規制	炭素税の導入	炭素税の導入による、容器・包材等コスト増加	△	—	中・長期
		各国のCO ₂ 排出量削減の政策強化	・再エネ需要が高まり、電力価格が高騰する ・電力制限により、イベント・ライブ会場での機材使用規制	○	—	中・長期
		プラスチック・資源リサイクル規制	CD・DVDやグッズの製造や廃棄におけるコスト増加	○	—	中・長期
	市場	低炭素（省エネ）、脱炭素、再生可能エネルギーへの移行が急進	チケットレス等のデジタルを活用したスマートライブ推進による費用の減少	—	△	中・長期
		調達コストの増加	炭素税や環境規制対応によって、紙資源など原材料への価格転嫁が進み生産・調達コストが増加	○	—	中・長期
		業界全体の環境対応要請の強化	CD・DVD等のデジタル化または簡易包装などの需要の増加による費用の減少	—	○	中・長期
		消費者の行動変化	サステナビリティ意識の高まりによるCD・DVD等の収入が減少する一方、デジタルコンテンツニーズの増加による収入の増加	○	○	中・長期
	評判	投資家の評判変化	気候変動をはじめとする環境への取り組みの遅れによる投資家からの企業評価や信頼度の低下	○	—	中・長期

（△：影響がある、○：高い、◎：非常に高い）

環境に関する取り組み・TCFD

■ 物理的リスク・機会：温暖化進行シナリオ（4℃）

物理的リスク・機会では、異常気象による自然災害の発生にともなう、事業活動の停止やサプライチェーンの断絶が大きなリスクとなります。自然災害は発生の予測が難しく、一度発生すれば甚大な被害をもたらします。現在においても、温暖化の進行により、災害をもたらす大雨などの極端な気象現象の発生が増加していますが、温暖化進行シナリオでは、この傾向はさらに強まることが想定されます。当社では、商品の簡易的な包装やスマートライブ等のデジタル化による環境の持続可能性に配慮した取り組みに加えて、全従業員が時間や場所にとらわれず、自律的に行動する働き方＝FFF*を導入し「スマートワークができるハイブリッド勤務制度」を実施し、オフィスを効率化することでCO2排出量を削減しています。

* Free Address/Flex Time/Free Location

気候変動リスク/ 機会の項目		世の中の変化	想定されるシナリオ	リスク 機会 発生時期		
リスク・機会	慢性	平均気温の上昇	・イベント・ライブ会場の熱中症リスク ・空調にかかわる費用の増加 ・従業員への健康被害が発生する	○	—	長期
			・外出機会の減少により、 室内におけるエンタメコンテンツの 需要が増加する	—	○	長期
		降水・気象パターンの 変化	主要事業所・拠点において、 災害対策に関する 設備投資コストの発生	◎	—	長期
		感染症の増加	外出機会が減少し、ライブの中止、 ライブへの来場者が減少する	◎	—	長期
	急性	異常気象の激甚化 (台風、豪雨、土砂、 高潮等)	自社拠点における 防災コスト・復旧コストが増加する	◎	—	長期
			生産・調達における 操業停止・サプライチェーンの 断絶が発生	◎	—	長期
			野外の会場でイベント・ライブ開催が困 難になり、それに伴う販売収益の減少	◎	—	長期
			従業員への人的被害が発生する	◎	—	長期

(△：影響がある、○：高い、◎：非常に高い)

リスク管理

当社では、リスク管理について「リスク管理規程」に基づき、各部門がリスクに対応する取り組みを実施しています。気候変動関連のリスクに関しては、サステナビリティ推進室と関連する部署で情報を共有しながら管理を行い、重要リスクについては定期的に取締役会に報告します。

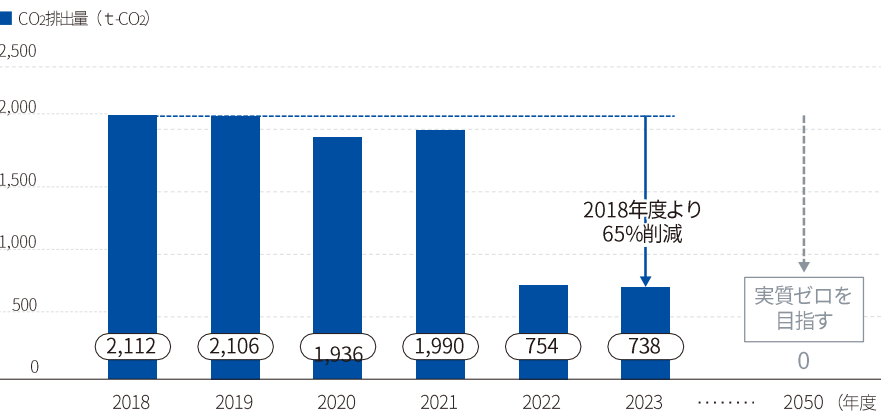
指標と目標

当社グループは、気候変動が社会の緊急課題であると認識し、省エネルギー化に取り組んでいます。2023年度の電力消費による間接CO2排出量は738t-CO2となり、本社ビルの移転等に伴い2018年度より65%削減しています。持続可能な社会の実現に向けて、日本政府の表明しているCO2排出削減目標を考慮し、CO2排出量を2050年までに実質ゼロにすることを2023年6月に目標設定しました。

CO2排出量の削減にあたっては、オフィスでの省エネ・節電に継続して取り組むとともに、ハイブリッド勤務制度により効率的なエネルギー使用量の削減に努めています。また、化石燃料を用いない再生可能エネルギーの導入や一般財団法人日本品質保証機構（JQA*）が認証するグリーンエネルギー等を積極的に活用し脱炭素社会の実現を目指してまいります。

* Japan Quality Assurance Organization

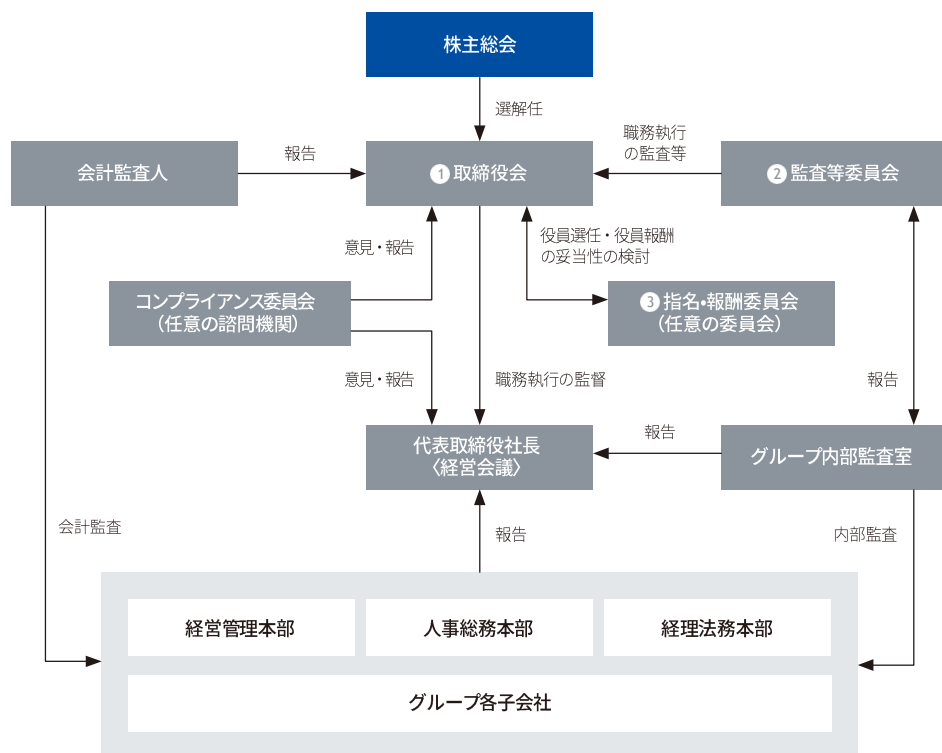
当社CO2総排出量の推移（t-CO2）



※本社ビル及び当社所有のスタジオを対象としています。
※2022年3月1日に、エイバックスビルから住友不動産麻布十番ビルへ本社を移転しました。

コーポレート・ガバナンス体制・委員会

コーポレート・ガバナンス体制図



① 取締役会（2023年度開催回数12回）

取締役（監査等委員を除く）5名及び監査等委員である取締役3名で構成され、原則として毎月1回開催し、当社及びグループ子会社の重要事項の決定を行っています。

2023年度の具体的な検討内容としては、取締役会付議事項にて定めている法令及び定款に定められた事項、経営全般に関する事項や重要な業務執行等について審議したほか、月次業績及び各事業の進捗状況等について報告を受けました。

■ 取締役会全体の実効性の分析・評価

2024年1月に社外取締役を中心に個別アンケートを実施し、外部機関からの報告を踏まえたうえで、2024年5月の定時取締役会において、分析・議論・評価を行いました。取締役会の回数、開催時間、議事内容、進行などおおむね肯定的な評価が得られており、取締役会全体の実効性については確保されていると認識した一方で、構成員の多様性の確保や後継者育成の強化等の課題も見られました。今後、本実効性評価を踏まえ、課題について十分な検討、及び対策を行ったうえで迅速に対応し、取締役会の機能性を強化していく取り組みを継続的に進めてまいります。

② 監査等委員会（2023年度開催回数12回）

社外取締役2名を含む3名で構成されており、取締役の職務執行の監査等を行っています。監査方針・監査計画、内部統制システムの整備・運用状況、会計監査人の評価及び監査報酬の妥当性、監査等委員会監査報告の策定等を主な検討事項としています。また、常勤監査等委員の月次監査活動について社外監査等委員に報告・説明し、情報共有を図っています。

③ 指名・報酬委員会（2023年度開催回数2回）

独立社外取締役を委員長とし、過半数が独立社外取締役で構成されており、役員選任プロセス及び役員報酬の妥当性を検証しています。役員及び経営幹部の選任にあたっては、当社行動規範を理解・実践し、経営を行うに足る必要なスキル・経験と実績を有し、事業発展に寄与できる人材であることを基本方針としています。

■ コンプライアンス推進体制について

委員長を独立社外取締役とすることを基本方針とし、弁護士等の社外の委員を含むメンバーで構成された任意の諮問機関としてコンプライアンス委員会を設置しています。重要なコンプライアンス上の問題を審議するほか、内部通報制度（ヘルプライン）により通報された事案が発生した場合には、直ちにその事実関係の調査や結果報告を行う体制を整えています。

■ 内部統制について

財務報告の信頼性の確保、業務の有効性・効率性の向上を図るため、内部統制システムを整備、構築しています。また、「内部統制基本方針」に基づき、毎期、内部統制の整備・構築状況を確認するほか、当社グループの企業倫理の根幹となる「コンプライアンス・ポリシー」を制定し、毎年、全役職員を対象とした研修（テスト）を実施する等、法令遵守の徹底の啓蒙を通じ、内部統制システムの維持・向上を図っています。

コンプライアンス・ポリシー

エイベックスでは、以下のコンプライアンス・ポリシーを、すべての行動・判断の基準に据え、事業活動を行っています。

インチキするな。

1. 公正、透明、自由な企業間競争を行う。
2. 会社の正当な利益に反して、自己や第三者の利益を図るような行為を行わない。
3. 営業活動において、不正な手段は用いない。

弱いものイジメするな。

1. 人権を尊重し、差別につながる行為を行わない。
2. 取引先に対しては、良識と誠実さをもって接し、公平かつ公正に扱う。

人の金で遊ぶな。

取引先等と健全な商慣習や社会的常識を逸脱した交際をしない。

ウソつくな。

1. 情報を的確に開示する。
2. 適正な宣伝・広告をする。

勘違いするな。

法令を遵守し、社会規範を尊重する。

無駄づかいするな。

環境問題の重要性を認識し、会社の資産は有効に活用する。

他人のものを盗むな。

自社の知的財産権を保護し、他者の知的財産権を尊重する。

「力」に頼るな。

1. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体との関係を持たない。
2. 政治、行政と透明度が高い関係を構築する。

抜け駆けするな。

1. 仲間に支えられている自分、仲間を支えている自分を意識する。
2. インサイダー取引をしてはならない。

仲間を裏切るな。

1. 信用・信頼・名誉を損なう行動や発言をしない。
2. 企業秘密・個人情報は適切に管理し、無断で会社外に開示・漏洩しない。

チームとしての誇りを。

1. 従業員が働きやすい職場環境を実現する。
- 2 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。

“そして、才能に愛と賞賛を。”
(決して嫉妬ではなく)

リスクマネジメント

主要なリスク一覧と対応

リスク	概要	対策
主要作品及びアーティスト・タレントの動向	ヒットアーティスト・コンテンツの有無や人気、新人アーティスト・タレントの成長等が業績に影響を及ぼす可能性	新たな才能の発掘・育成組織「avex Youth」を軸とした、継続的なデビューとエコシステムの構築を推進
災害の発生及び感染症の流行	自然災害及び感染症流行に伴う大型ライブ・イベント及びコンテンツ制作活動の休止	国や地方自治体などのガイドラインに基づく感染症対策の徹底、災害発生時における迅速な対応を行うための危機管理体制の構築
海外市場への事業展開	諸外国における政治・経済的要因、法律・規則要因、不利な租税要因や社会的混乱等が海外展開及び業績に影響を及ぼす可能性	各海外拠点を通じた現地情報の収集と共有体制の強化
技術革新への対応	技術革新や競合の出現等による事業環境の急激な変化等が業績に影響を及ぼす可能性	外部パートナーとの協業も活用した新技術や新たなプラットフォームへの対応、事業ポートフォリオの継続的な見直し
システムリスク	サイバー攻撃などを原因とする重要データの消失やシステム復旧までのサービス停止等が事業活動及び業績に影響を及ぼす可能性	重要データ消失やシステムダウン等へ対応できるようセキュリティ対策、バックアップ環境構築等の対策を実施
減損損失	保有資産の時価が著しく下落した場合などに、減損損失が発生し、業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性	投資実行時における決裁権限規定の見直し、定期的な事業レビューの実施
個人情報管理	万が一個人情報の漏洩が発生した場合に、損害賠償や信用下落により事業及び業績に影響を及ぼす可能性	個人情報保護規程の制定や従業員に対する情報セキュリティ研修の実施
法的規制及び法令遵守	将来における関連法令等の改正や変更による事業活動に対する制約や法的規制遵守のための費用増加が、事業及び業績に影響を及ぼす可能性	各種法的規制遵守のため、社内規程の整備やコンプライアンス体制を強化
特定経営者への依存	代表取締役会長の松浦勝人が何らかの理由で当社グループから離脱した場合、事業及び業績に影響を及ぼす可能性	代表取締役社長を中心とした経営体制への移行、指名・報酬委員会を通じた後継者計画の策定、次世代経営幹部の育成推進

■ リスクマネジメント体制

リスク管理規程に基づき、リスク管理責任部門に当社及びグループ子会社に生じうるリスクの特定とその対応策を講じさせるほか、リスクを網羅的かつ総括的に管理するリスク管理担当取締役を任命し、リスク管理が図られる体制を整備しています。また、これらリスク管理状況については、グループ

内部監査室が監査を行い、この結果は、代表取締役社長及び監査等委員会に報告される体制を整備しており、課題が発見された場合にはリスク管理部門及び関係部門と連携をして対応を行う等、リスク管理体制の維持と向上を図っています。

マテリアリティと主要テーマに基づくアクション			2025年4月更新
＜3つのマテリアリティと7つの主要テーマ＞		＜主要テーマに紐づく18のカテゴリ＞	＜アクションプランと具体的な取り組み＞
①「無形の豊かさ」を創る、届ける			
Ⅰ：才能や作品を通じた人々への感動や生きる活力の提供	A：音楽、アニメ・映像、イベント、ライブ、シアター、コンサートなど、エイベックスならではのエンタテインメント体験の提供		2024年度の取り組み
	B：アーティスト・タレント・クリエイターによる感動体験の提供		「a-nation 2024」開催 劇場アニメ『ルックバック』第48回日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞受賞 令和6年能登半島地震による復興支援活動 才能や夢を信じる力を伝える特別授業「avex class」の開催 中高生のキャリア教育となる企業訪問プログラムの実施 東京都/アーツカウンシル東京アクセシビリティの向上事業、文化庁子供舞台芸術鑑賞体験支援事業を通じた、音楽・劇場など実演芸術鑑賞機会の提供 石橋陽彩が「第十九回 声優アワード」で、新人声優賞を受賞 東日本大震災による被災地への復興支援活動 新型コロナウイルス感染症の対応
Ⅱ：ダイバーシティ&インクルージョン（多様性と包摂性）の推進	C：エンタテインメントを通じた社会のダイバーシティ&インクルージョンの推進		小児がん治療支援チャリティーライブ「LIVE EMPOWER CHILDREN」の開催 高齢期の健康促進や認知症対策に効果的なDVD「リバイバルダンス」の販売 国際小児がん啓発キャンペーン「Global Gold September Campaign」のサポート カラダと地球にやさしい最高の美食、ケアリングフードの普及・啓発 特定非営利活動法人ジャパンハート、認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワークより、小児がん啓発に貢献したTRFに感謝状が授与 一般社団法人 Empower Childrenが、小児がん治療支援団体に寄付金を贈呈 伊藤千晃が「ジャパン フェムテック サミット アワード2024」でアワードを受賞 伊藤千晃と木下ゆーきが「Fem+（フェムプラス）」にてトークショーを開催 “志”新卒採用、“志”ポテンシャル採用（第2新卒採用）、“志”キャリア採用（中途採用）、“志”アルバイト採用、“志”チャレンジ採用（障がい者採用）の実施 女性管理職の登用推進 外国籍人材の新卒採用および中途採用 定年退職後の再雇用制度 障がい者の就労定着を支援するための定期カウンセリング 各種ガイドラインによる社員教育の実施 全役員・社員を対象に、情報セキュリティ・コンプライアンス・ポリシー試験を実施
	D：社内のダイバーシティ&インクルージョンの推進		4.7、 5.4、5.5、 8.5、8.8、 10.2、 11.3、11.7、 16.7
②「次世代」を創る、届ける			
Ⅲ：「次世代」人材の発掘・育成	E：次世代との持続可能な世界づくりにむけた協働と社会経験機会・学習機会の提供		才能や夢を信じる力を伝える特別授業「avex class」の開催 中高生のキャリア教育となる企業訪問プログラムの実施 DANCE CLUB CHAMPIONSHIP（全国高等学校ダンス部選手権）の実施 サステナビリティ推進ユニット学生メンバーの活動 大学生インターンの受け入れによる社会経験機会の提供 エンタテインメントビジネスマスターでの学習機会の提供 古坂大魔王が早稲田大学の講義にゲスト講師として登壇 横浜市立北山田小学校でダンスレッスンを実施 エイベックス・アーティストアカデミー、エイベックス・ダンスマスターを通じたダンス文化の醸成 Dリーグへ参画を通じたダンサーのキャリアルートの確立 中学生以下対象の次世代スターを発掘するオーディション「キラチャレ」の開催 次世代の才能を発掘・育成するプロジェクト「WARPs DIG」にてデビューメンバー決定 BIG UP!、muchooなどのプラットフォームを通じた才能の発掘 新人開発の強化、作品軸での発掘、音楽軸でのコンテンツ出資 グローバルに活躍するスターを継続的に輩出していく才能の発掘・育成組織「avex Youth」による活動支援 次世代のアートと出会う、現代アート専門動画メディアおよびフェスティバル「MEET YOUR ART」事業の実施 本社オフィス10Fカフェスペースでの、所属タレント・アーティストへの就業機会の提供
	F：多様な地域・分野で“愛される”才能の発掘・育成と経済的自立支援		4.3、4.4、 8.2、8.5、 17.16
	G：エンタテインメント企業の強みを生かした「サステナブルな世界」を伝える普及啓発	■所属タレント・アーティストによる社会課題の発信への貢献（中央省庁との連携）	「国連を支える世界こども未来会議 in INAGI」審査員としての参加 厚労省による肝炎対策国民運動事業「知って、肝炎プロジェクト」イベントの実施 警察庁による特殊詐欺撲滅プロジェクトの普及 "認知症について学んで、備える"共同プロジェクト「リバイバル ライフ（Revival Life）」プロジェクトを朝日新聞社と共同実施 ベネッセと共同開発したオンライン専用ダンスプログラムの実施 ライオン株式会社「おくちからだプロジェクト」への協力 飯豊まりえ、厚生労働省の最低賃金の改定に合わせた周知広報への協力 総務省による古坂大魔王の異能vation推進大使の委嘱 文部科学省による古坂大魔王のCCC大使委嘱 生見愛瑠 2021年秋の交通安全運動の広報官就任 川栄李奈 #8008（はれれば）・189（いちかはやく）普及啓発活動 「大阪来てな！キャンペーン」（令和5年度）の企画制作・PR業務 名古屋市とエイベックス・エンタテインメントの包括連携協定の提携 「FC町田ゼルビア」とトップパートナー契約を更新 音声AR SARFを活用した地域活性 北海道千歳市・支笏湖で水質・環境保全をうたうキャンブイベント「SHIKOTSUKO BLUE CAMP」の制作

IV :「サステナブルな世界」に向けた多様なパートナーシップ	H: 地域・コミュニティとのパートナーシップ	■自社事業・サービスを通じた地域振興への貢献 新時代の夏祭り「YORU MO-DE」(ヨルモウデ)で、現代風盆踊り「ODORI MO-DE」(オドリモウデ)をプロデュース 島県双葉郡広野町のJ'ヴィレッジスタジアムにて「Urban Sports Camp with MUSIC LIVE」を開催 高知県で開催された「第71回よさこい祭り」前夜祭・後夜祭の演出に協力 福島市主催「ユナイテッドアーバンスポーツフェスティバル」に実行委員会として参加 衣服廃棄削減に貢献するサステナブルな販売会「エコセール」を開催 田村優が大阪府吹田市で小学生を対象としたラグビークリニックを開催 古坂大魔王 青森市観光大使 花村想太(Da-iCE) 伊丹大使 バリカタキッズ ユニバーサル都市・福岡PRサポーター就任 伴都美子(Do As Infinity)山都町ふるさと応援大使 ANAあきんど×Nissy地域創生プロジェクト 丸高愛実が徳島県のこども園で読み聞かせボランティアに挑戦 古坂大魔王が岡山市プラスチック資源回収啓発アンバサダーに就任 「NEXTスタートアップえひめ」EGFアンバサダーに、古坂大魔王が就任 福田愛依が福岡県太宰府市の「令和の都だざいふ応援大使」に就任 大原優乃が三田警察署の一日警察署長に就任 ビュ太郎がサステナブル×ハイテクを推進するプロジェクト「SusHi Tech Tokyo」のPR動画に起用 「リアルとバーチャルを行き来するパラレルシンガー」の七海うらがが遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)の疾患啓発CMに出演 大原優乃が「鹿児島ファン拡大アンバサダー」に就任 高石あかりが「みやざき大使」に就任 Miyuuが「愛媛・伊予観光大使」に就任 平美乃理が金町一日消防署長に就任 高野洸が「くるめふるさと大使」に就任	4.7、8.2、8.9、11.3、12.8、13.3、17.16
	I: グローバルレベルでのパートナーシップ	■国際的なエンタテインメント事業の展開 AEG Presentsとの、相互補完的パートナーシップ UNEP(国連環境計画 国際環境技術センター)との協業 シンガポール都市再開発庁、シンガポール政府観光局とのパートナーシップによるSTAR ISLANDの開催 サウジアラビア総合娯楽局とのパートナーシップによるSTAR ISLANDの開催 エイベックス・ピクチャーズがアジア最大規模のドラマスタジオ・スタジオドラゴンと戦略的業務提携協定を締結、プロジェクトを実施 国連開発計画(UNDP)と意見交換を実施	
V : 経済・社会・環境を調和するイノベーション	J: テクノロジーを活用したコンテンツの開発	音声AR SARFを活用した地域活性 誰もが3Dキャラクターを活用できるソリューション「RIBLA」の提供 オンラインライブ配信サービス「Z-aN」の運用 The Sandboxへの参加によるメタバースの活用	7.2、7.3、8.2、9.b、9.4、10.2、11.3、11.7、12.4、12.5、13.1、13.3
	K: カーボンニュートラルを目指す「スマートライブ」の推進・環境保全への取り組み	環境負荷軽減を目的とした次世代型スマートライブのテストケースとして、2022年株主様限定ライブを実施 倭田來未モバイルファンクラブ「NFT付き永久会員証」を配布 世界的な関心事である脱炭素に対し、カーボンオフセットイベントの実証実験 デジタルを活用したファンコミュニティの形成とチケットの電子化の推進 イベントで排出した廃棄物の分類や再生化(リサイクル) 「STAR ISLAND 2024」にてごみ拾いイベント「STAR ISLAND プロギング」を開催 本社オフィスで提供する飲料水のペットボトルを「国産再生PET樹脂使用ボトル」に変更	
③「無形の豊かさ」と「次世代」を創るための土台となる組織づくり			
VI: ビジネス倫理を確保するガバナンス	L: コーポレートガバナンス	コーポレートガバナンス基本方針の開示 コーポレートガバナンスに関する報告書の開示 監査等委員会による、取締役の職務執行の監査の実施 社外取締役の専任・社外取締役の独立性判断基準、役員報酬の基本方針の開示 全役員・従業員を対象に、毎年コンプライアンスポリシー研修を実施 役員及び従業員に対する法令順守の徹底	5.1、5.2、8.7、8.8、10.2、10.3、16.2、16.10、16.b
	M: サステナビリティ推進体制の整備	TCFD提言に基づく気候変動への取り組みを公開 社員、タレント・アーティスト、大学生などで構成されるサステナビリティ推進ユニットでの活動 全役員・従業員を対象に、情報セキュリティ・コンプライアンス・ポリシー試験を実施 お買い上げいただいた商品についての製造物責任法に基づく説明を記載 個人情報保護方針の記載 不具合・事故など発生時の対応方針の共有・内部監査の実施 全役員・社員を対象とした、情報セキュリティ研修を毎年実施	
	N: 製品・サービス・コンテンツの安全管理	「STAR ISLAND 2024」東京公演にて従業員無料招待を実施 横浜DeNAベイスターズ三浦大輔監督がエイベックスに来社し、従業員に向けて優勝報告会を実施 広島東洋カープ新井貴浩監督に向けて、エイベックス本社で2025シーズンへの激励会を開催 社員総会の開催 男性育休取得促進による妊娠・育児・介護関連規程の改定、ガイドブックリニューアル ハイブリッド型のワークスタイルによるワークライフバランスの推進 従業員を対象にジョブ型の新人事制度を開始 女性活躍推進法に基づく、一般事業主行動計画の策定 産前産後休業・育児休業・介護休業時および復職時のサポート(「くるみん」マーク取得実績あり)」 健康診断受診の徹底	
VII: 働きがいと人権の尊重	O: 働きがいの推進		3.4、5.1、5.2、5.4、8.5、8.7、8.8、10.2、10.3

		ストレスチェックの実施 社内相談窓口を設置、全従業員がカウンセリングを受けられる環境を整備 女性の健康問題にフェムテック視点で向き合う「femme CHEERS project」を実施 国際女性デーに合わせ、社内イベント「Women's Day My Well-Being～田辺莉咲子と考えるココロとカラダ～」を開催	16.2、16.9、 12.8、 16.2、16.10、16.b
	P:人権尊重に関する制度の整備	全役員・従業員を対象に、毎年コンプライアンスポリシー研修を実施 内部通報規定の整備、社内外の通報・相談窓口の設置と全従業員への周知 コンプライアンス規定、内部通報規定、制作倫理規定、ソーシャルメディアガイドライン、表現・倫理ガイドラインなど各種ガイドラインの整備	
	Q:個人情報保護をはじめとする消費者・ファンの人権尊重や意見反映のための体制の維持・強化	Webサイトに問合せ窓口を設置、問合せ内容のデータベース化を通じた顧客の声の蓄積と反映体制の構築 著作権と著作権隣接権についての情報を公開	
※持続可能な開発のための 2030 アジェンダ より			